

東京商工新聞

第459号
 発行 東京商工団体連合会
 〒116-0013 荒川区西日暮里6-62-1
 電話 03-5692-5081
 F A X 03-5692-5091
 発行責任者 井賀真一

ホームページ [東商連](#) 検索 電子メール mailadm@toshoren.jp

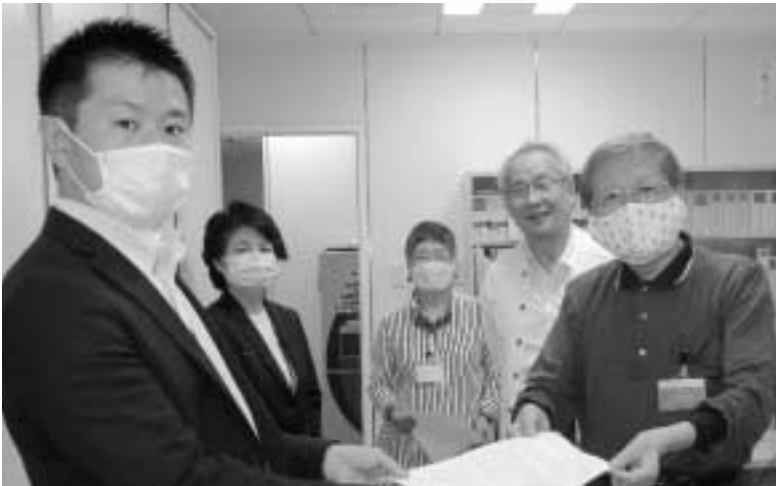


東京都はすべての業者を救済せよ!

都と交渉 感染拡大防止協力金の支給を早く!

東商連は6月5日に東京都交渉を行いました。東商連からは星実会長、長谷川清副会長、小林昭子(てるこ)副会長、事務局2人が参加。都は産業労働局から2人の課長が対応しました。また、日本共産党から尾崎あや子都議が同席しました。

まず、支給が大幅に遅れている感染拡大防止協力金について星会長が「とにかく遅い、いつ支給されるかみえない中で業者が不安になっている」と指摘。都は「現時点で10万9千件の申請があり、約5万件の支給が決定。都の職員500人体制で対応している。



要望書を都に提出



家賃補助や今後の支援策についても追求しました

17日から始まる2回目の申請開始までには終わらせるつもりで対応している。支給決定までのスピードについては、オンライン申請と郵送等での申請での違いはないが、専門家の確認があるほうが一度書類に目を通して不備がない状態で提出しているのが早いのは事実。2回目の申請については、申請の簡略化を考へており、そのために紙(郵送)での申請情報はすべてこちらで入力をおこなうデータ化している」との話でした。また、休業(時間短縮営業)要請対象になっていない業種に対しての支援については、「あくまで要請に応じた業種に対しての協力金という位置付けであり、現状では考えていない」と回答。長谷川副会長は「協力金」という言葉が弱いと感じる。コロナの影響は全業種に関わっている。業者の廃業を止め、商売の持続化という視点で考えてほしい」と要望しました。

また、家賃補助について、国が検討している制度は十分な補償にならないことを訴えると、「都としても支援策の検討を始めました。国の動きを注視している状態でも具体的な中身については言及しませんが、本当に活用できる制度にする

持続化給付金 迅速な支給と審査・対応改善を

東京、埼玉、千葉、神奈川4県連 関東経済産業局に申し入れ
 東商連は6月9日に経済産業省の出先機関である関東経済産業局へ埼玉、千葉、神奈川県連と共同で持続化給付金の制度改善や迅速な審査、支援センターでの対応の改善などを申し入れました。東商連からは小林昭子(てるこ)副会長、大内朱史事務局長が参加し、産業局側からは中小企業課長が対応しました。小林副会長が「中小業者は廃業に追い込まれる瀬戸際にある。給付に該当する業者を一人も残さない立場で対応するよう伝えてほしい」とあいさつし、各地で起きている

東商連は6月9日に経済産業省の問題点を伝えた。特別利用者の審査に100万件給付している。特別利用者の審査に時間がかかっている。審査の進捗状況をマイペー

実務上の問題点として(1)白色申告者に青色決算書の提出を求めるなど確認できるようにする。不備指摘に対する対応の遅延。不備指摘が2面の名義が違うなどたほうがよいという要望。東商連からは小林昭子(てるこ)副会長、大内朱史事務局長が参加し、産業局側からは中小企業課長が対応しました。小林副会長が「中小業者は廃業に追い込まれる瀬戸際にある。給付に該当する業者を一人も残さない立場で対応するよう伝えてほしい」とあいさつし、各地で起きている

実務上の問題点として(1)白色申告者に青色決算書の提出を求めるなど確認できるようにする。不備指摘に対する対応の遅延。不備指摘が2面の名義が違うなどたほうがよいという要望。東商連からは小林昭子(てるこ)副会長、大内朱史事務局長が参加し、産業局側からは中小企業課長が対応しました。小林副会長が「中小業者は廃業に追い込まれる瀬戸際にある。給付に該当する業者を一人も残さない立場で対応するよう伝えてほしい」とあいさつし、各地で起きている

6・10経産省前抗議行動

新型コロナウイルスの影響で売上が半減した業者への持続化給付金の支給が遅れている問題について6月10日、全商連の呼びかけで経済産業省前で抗議行動を行いました。東商連からは長谷川清副会長が弁士に立ち「商売を持続させるといふ点では給付額が現状に見合っていない。国民の声を真摯に受け止め、より充実した支援を行うべき」と訴え。また、玉川民商の豊島孝子副会長(工務店)は「日本共産党から清水ただし参院議員、いわぶち友参院議員が駆けつけ、清水議員は「給付金が届かないことによる『手遅れ廃業』を一人も出してはいけません。この行動には30人が参加し、省庁に向けてシ

はいけない。そして、経産省には特定企業との癒着をキツパリ断ち切ってユプレコールも行ってもらいましょう」と激励しました。



経産省前の抗議行動参加者

コロナ禍を生きる

新宿民商

クラウドファンディングで生き残りを模索
ライブハウス21世紀
柏定支部のライブハウス21世紀は、生バンドで歌える老舗のライブハウス。歌手の平井堅さんをはじめ、有名な作曲家など多くの音楽家を送り出してきました。

しかし、ライブハウス全体が目の敵にされてしまい、都と区の両方からイベント自粛を求められ頭を抱えていました。緊急事態宣言があけても休業要請が何カ月続かなかつた。協力金も時短で営業できる他の業

態と同じ金額しかでませぬ。ライブハウス21世紀を残したいと幅広く資金援助を募れるクラウドファンディングに挑戦し、170万円以上の支援があつまりました。

6月からご予約いただいた日のみ営業再開し、本格始動に向けて走り始めました。

「お店をやったおかげで色んな人と出会い助けられて生きてこれた。お店を守りたい」と、営業再開に向けて、販路拡大のためデリバリー助成金に挑戦し、お客様が安心して飲食できるよ工夫して頑張っています。テイクアウトが好評地どり割烹



おはじき新宿
柏定支部のおはじき新宿は甲州地鶏を刺身でいただける名店です。緊急事態宣言の影響で



「美しく歩く」をテーマに、歩くだけで健康になる方法を広め、全国各地でトレーナー養成や健康教室をしてきた新宿中

売上が激減し、5月7日からランチとテイクアウト営業をはじめました。おはじき新宿の美味しいお料理を自宅で食べられると好評です。ステイホームで健康づくりを促進

NPOオーキング研究所
「美しく歩く」をテーマに、歩くだけで健康になる方法を広め、全国各地でトレーナー養成や健康教室をしてきた新宿中

減してしまいました。「ステイホームが求められ運動不足の人が増えたいま、健康づくりへの関心が高まっている」と考え、手軽なラバーバンドエクササイズとタオルマッサージを考案しました。LINEで会員のみなさんに動画や画像を送って健康づくりをサポートしています。

中央部のウオーキング研究所代表の駒崎さん。新型コロナウィルスで、区の施設などが使えなくなり、セミナーを開くことができなくなり収入が激減してしまいました。

読者の



読者の

読者の

塗装業の息子の仕事がコロナの影響でガタツと落ちました。持続化給付金をすぐに申請しようと民商に相談し不備を指摘するメールが来たりと大変でしたが、無事に入金されました。困ったときは「まず民商に相談」ですね。

（板橋区・国分尋美）
商売が本当に大変
大将が毎朝バイクに乗って豊洲で仕入れる江戸前寿司店です。生鮮品を扱っていますので出前、テイクアウト対応が難し

く4月から休業。テレワークの普及と職場で業務終了後の会食禁止などの制限がかかっているように、夜になると人気が全くありません。当分、需要の回復は難しいと覚悟しています。

（千代田区・辻友紀子）
6月号のパズルの答え
ミズバシヨウ
次の方に図書カードを送ります。

（練馬区）
茂木 妙子
（調布市）
窪田美枝子
（府中市）
小池真理子
敬称略

お楽しみ図書カードが当たる ザ・クロスワード

No.130

ヨコのカギ

- 押し・巻き・にぎり・ちらしなどあります
- けん牛と織女がデートする場所
- 陽性ではありません
- 首都はバグダッド
- 地球の外側を回る惑星
- マップ
- 紙・組・線などの部首
- エア……。パン……
- 医者がコレを投げると大変です
- 何か変。……きてれつ
- 絵巻物「鳥獣……」
- シメジ・マツタケ
- 聞いた人が感心する話
- 力闘。孤軍……
- 水泳。……クラブ
- 団体や会の役員

タテのカギ

- 夏の代表的な果菜
- 生後四週間までの赤ちゃん
- 目……シャドー
- 騒音。雑音
- 着物などの模様
- 細菌から作った感染症予防の薬剤
- 中学や高校の……
- 乙な味。山海の……
- 壁に描いた絵
- 赤ん坊を運んでくる鳥
- 奉仕。……精神
- 銀行などに預けたお金
- 詳しく調べて選ぶこと
- 幅の狭い道
- 灯……。天文……
- とら……。ちり



【解き方】カギを解いてクロスワードを完成したら、二重ワクの文字をつまみつけて言葉完成させてください。

宇都宮健児候補勝利で営業と生活を守る

都知事選決起集会を開催

6月18日告示、7月5日投票でおこなわれる都知事選、ヤミ金や商工ローン問題、築地市場の豊洲移転問題など、命がけでもたたかた宇都宮健児候補を勝たせて営業と生活を守る

「東商連 都知事選決起集会」を開催しました。コロナ感染拡大防止が依然求められるなかで、通常より参加者を縮小した形にはなりませんが、19 民商から35人の参加。

4年間の小池都政の実態を明らかに
開会あいさつで星実会長が「中小業者の要求がますます中で、全都で組織的前進をつくっていく。役員・事務局の奮闘に感謝します」と述べ、「公約を投げ出す知事と決別し、私たちの知事を

日本共産党の尾崎あや子都議が都政報告に駆けつけました。コロナ問題で都の初動の遅れを指摘し、東京都でのPCR検査数が少ないことを認めないこと、必要な都立公立病院の役割を無視し、実質の民営化を押し進めようとしていることを報告。また、カジノ誘致の情報開示を行うこと、真つ黒な資料が出されたことを話し、この4年間で何をしてきたのかをあらためて見る必要について訴えました。

全会員へ訴え
続けて、大内朱史事務局長は、「都知事選勝利で中小業者の営業と生活を守る」と訴え、感染拡大防止協力金など、中

減してしまいました。「ステイホームが求められ運動不足の人が増えたいま、健康づくりへの関心が高まっている」と考え、手軽なラバーバンドエクササイズとタオルマッサージを考案しました。LINEで会員のみなさんに動画や画像を送って健康づくりをサポートしています。

「大いに歓迎」と評価。しかし、対象を全体の三分の一に絞ったことの問題を指摘し、豊洲問題カジノ誘致推進、国保料（税）の大幅引き上げ、都立病院の独立法人化など公約を投げ捨てた小池都知事の政治姿勢は「自民党型都政」と批判しました。

その上で「私たちの7大要求」として(1)すべての中小業者への支援(2)消費税減税とインボイス導入撤回(3)大型店への適正な規制で「住民密着のまちづくり」(4)融資制度の拡充(5)女性・青年事業者(起業家)への支援(6)国保・介護・医療など社会保障の充実(7)憲法を活かし、平和と民主主義の確立の実現を目指す。

最後に、長谷川清副会長は「この間、減らさず増やす仲間づくりが進んでいる。これは、私たちの運動が中小業者の求めに込んでいるからこそ、都知事選挙を勝利して中小業者の展望を開こう」と呼び掛けました。

人に知ってもらうために宣伝を。なんとしても、民商や共闘団体の奮闘で都知事と都政を変える決意

推薦を決議した4民主（豊島・増淵克美副会長）、「3年間、民商連動に携わっているが、融資や持続化給付金、協力金など、今ほど切実な要求が集中したことはない。かつてないことが起きている」（蒲田・石倉真喜夫事務局長）など渦巻く要求と大変化を語り

最後に、長谷川清副会長は「この間、減らさず増やす仲間づくりが進んでいる。これは、私たちの運動が中小業者の求めに込んでいるからこそ、都知事選挙を勝利して中小業者の展望を開こう」と呼び掛けました。

俳句

石川貞夫選
玉ねぎを両手にさてと立つ厨
大田区 山根 康子

こっそりと梅酒を紙める夜風かな
大田区 山根 康子

夫仕事みどりの風へ自転車
大田区 馬場 恵子

世の塵を隔つ高さや山法師
三鷹市 根岸 操

夏帽子行きたき場所は夢の中
足立区 望月千恵子

非正規の哀しみコロナに春知らず
大田区 出川ひろ子

笹の葉に母の思い出粽の香
江戸川区 細川ひろし

愛でる人待つや紫陽花淋しげに
練馬区 片山 榮子

米兵器爆買いなんぞ梅雨に入る
狛江市 相馬 里子

【投稿規定】ハガキに3句以内。未発表に限る。住所・氏名・電話番号を明記のこと。締切は毎月第2月曜日。宛先は東京商工団体連合会「東京商工新聞」編集部。掲載者には図書カードを贈呈いたします。

※他にも佳句あり。次回もぜひ健筆を！